

- 設計者の皆様方へ ※オーダーされる前に必ずお読み下さい※不明点等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。
- 施工業者の皆様へ ※施工される前に必ずお読み下さい※不明点等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

国内生産品

不燃

屋外

環境

※目地施工のおすすめ・デザイン柄のシンプルな製品は(目地巾3mm以上)目地施工をおすすめします

凹凸の激しいブリックに関しましては突き付け部の暴れが目立ちづらいですがシンプルな柄のブリックの施工に関しましては目地施工で仕上げさせていただきますときれいに仕上がります。(施工時に設計者をご協議下さい。)

DSCブリックはGRC製品です。  
(ガラス繊維強化セメント)

※1枚1枚色柄にバラツキがあります-天然石の風合い・素材感・色ムラを楽しんで頂く製品です※

DSCブリックはライン生産の工業製品ではありません。1品ごと押し型成型による手作りの商品です。従いまして、各商品は全くの均一ではなく多少のばらつき(厚さ・重量・色むらなど)がございます。施工の際などに柄合わせ・レベル調整に多少の手間がかかりますことと合わせ商品の風合いとご理解ください。製造ロットの違う製品が混載されることもございます。商品の製造特性上商品の角や隅の部分に微細な欠けがありますがご理解ください。また、カタログ・WEB上商品の画像は実物と色あい等が多少異なる場合がございます。ショールームでの実物や取り寄せサンプルでのご確認をお勧めいたします。

## 【DSC (ディーエスシー) ブリック施工及び推奨接着剤について】

ボンド エフレックス コニシ

タイルワンLT 屋内/屋外用

【標準使用量】 浮かし(ダンゴ圧着時)厚5mmの場合

30g/1点 1.5kg/m<sup>2</sup>以上

※1点・・・直径約50mm、高さ約10mm以上のダンゴ状 (次ページ塗布図参照)



容量2kg (アルミパック)・梱包単位9本

- 変成シリコーン・エポキシ樹脂系接着剤
- 環境対応型1液湿気硬化型弾性接着剤

1液型であるため、計量・測定の手間が要らず、より高い安全性が期待できます。弾性型であるため、躯体の変形(振動、温度差による膨張・収縮など)に追従することができ、外部応力の緩衝効果に優れます。環境、健康に優しい環境対応型接着剤です。

JIS A 5548 (セラミックタイル張り内装用有機系接着剤タイプI) F★★★★適合品

JIS A 5557 (外装タイル張り用有機系接着剤) 適合品

適合下地材: コンクリート、モルタル、押し出し成型セメント板、ケイ酸カルシウム板、合板

JAIA 4VOC基準適合

タイルメント

MS-20 屋内用

【標準使用量】 浮かし(ダンゴ圧着時)厚5mmの場合

60g/1点 2.4~4.0kg/m<sup>2</sup>

※1点・・・直径約50mm、高さ約30mmのダンゴ状



容量2kg (フィルムパック) 梱包単位9本

- 変成シリコーン樹脂系接着剤
- 化学反応形無溶剤タイプ
- 指定可燃物 可燃性固体類

屋内壁面タイル・石材施工用として開発された、点付け施工用の一液反応硬化形の変成シリコーン樹脂系接着剤です。硬化後は適度な硬さを保持することで、接着強さを確保しつつ、下地の変形やタイルの動きによる応力を緩和します。

タイルメント

ME-05 屋外用

【標準使用量】 浮かし(ダンゴ圧着時)厚5mmの場合

60g/1点 2.4~4.0kg/m<sup>2</sup>

※1点・・・直径約50mm、高さ約30mmのダンゴ状



容量2kg (フィルムパック) 梱包単位9本

- 変成シリコーンエポキシ樹脂系接着剤
- 化学反応形無溶剤タイプ
- 指定可燃物 可燃性固体類

屋外壁面タイル・石材施工(落下防止金物併用)として開発された、一液反応硬化形の変成シリコーン・エポキシ樹脂系接着剤です。硬化性に優れ、硬化後は適度な硬さを保持することで、接着強さを確保しつつ下地の変形やタイルの動きによる応力を緩和します。

推奨接着材は弊社からも購入できます。右のQRコードよりお問い合わせください



## 【注意】屋外使用について

- 屋外使用製品は、撥水処理(B色のみ)と製造時に落下防止フックを差し込み成型硬化させ一体化しての生産が標準仕様となります。
- 屋外でご利用の場合、オプション加工: 専用トップコート「HSプロテクト」処理も可能です。詳しくはHPをご覧ください。

## 施工方法

### 【下地の調整及び清掃】

1. 下地面及び仕上げ材のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。
2. DSCブリック裏面を確認して裏面に付着した粉塵・ほこりなどを固く絞った布で拭き取ってください。

チェック: 若齢下地、浮き水がある下地への施工は接着不良の原因となりますので避けてください。

### 【仕上げ材の割付け】

1. 割り付け図面に従って基準墨から墨出しを行います。

チェック: 躯体や下地の目地にまたがってブリック製品貼りをを行うと、仕上げ材の割れなどの原因となる恐れがありますので、原則として目地をまたいで仕上げ材を張らないでください。

### 【仕上げ材貼り】

1. 接着剤は開封後直ちに使用して下さい。
2. ヘラなどを使用して接着剤を仕上げ材の裏面へダンゴ状に点付けします。
3. 目地の状態・バランスや不陸を調整しながら押さえつけるように仕上げ材を張り付けます。  
(製品の表面をクッション材などで保護しラバーハンマーなどで振動を与えながら製品をしっかり圧着してください)
4. 2段目からはスペーサーなどを利用して目地調整をしながら張り付けます。
5. 適宜仕上げ材を剥がして裏面に接着剤が充分付着している事を確認します。

チェック: 下地へ仕上げ材と同等の大きさの接着剤が付着していることを確認してください。

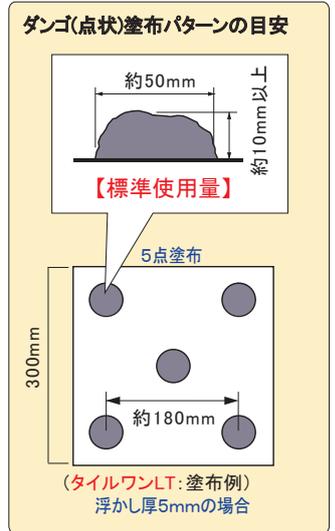
仕上げ材表面に付着した接着剤は、硬化する前にシンナーなどを含ませた布で拭き取ってください。

接着剤塗布後、張り付け可能時間以内に終わってください。

### 【養生】

1. 仕上げ材張り付け後、接着剤が硬化するまで夏期1日以上、冬期は3日以上外力が加わらないように養生します。

※こぶだしブリック(DS-KB1~3)は接着剤とビス止めを併用しての施工製品となります。取付けの際はご注意ください。



株式会社トーザイクリエイト 東京都渋谷区本町1-21-1 SH小林ビル9F info@tozaicreate.com



www.tozaicreate.com/